

2019年3月19日  
株式会社海外交通・都市交通事業支援機構

## ミャンマー国 ティラワ港穀物ターミナル事業への支援を決定

株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（東京都千代田区、代表取締役社長：波多野琢磨、以下「JOIN」）は、ミャンマー国ティラワ港における穀物ターミナル事業へ参画するため、港湾物流大手の株式会社上組（神戸市中央区、代表取締役社長：深井義博、以下「上組」）及び現地企業 Lluvia Limited（※）が設立した International Bulk Terminal（Thilawa） Company Limited（以下「IBTT」）へ約17億円を出資することを決定し、2019年1月29日に国土交通大臣の認可を得、本日上組と Lluvia 及び JOIN の間で株主間契約を締結致しました。

IBTT はティラワ港 Plot30・31 の一部において、穀物用サイロと倉庫を備えた、穀物・飼料等のバルク貨物専用のターミナルです。本ターミナルはミャンマー港湾公社との BOT 契約を基に開発され、2019年4月完工、2019年5月の営業開始を予定しています。

ミャンマー国は民政移管後の経済成長に伴った食の多様化が進んでおり、小麦等の穀物の輸入量が増加しています。また主要生産物であるコメは広く世界に輸出されています。これまでミャンマー国ではこれら輸出入の殆どはコンテナにて行われておりましたが、今後更なる貨物量増加に伴い、大量輸送により物流コストを削減できるバルク船及び穀物サイロによる食料輸出入へのシフトが見込まれます。

上組が日本国内で培った食品安全管理や効率運営などのターミナル運営ノウハウの海外展開を支援し、ミャンマー国の食料事情改善に資する貿易量拡大と経済発展に貢献して参ります。

※Lluvia Limited… 本邦大手総合商社である三菱商事株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：垣内威彦、以下「三菱商事」）と、現地コングロマリットである Capital Diamond Star Group（ヤンゴン市、Managing Director：U Ko Ko Gyi、以下「CDSG」）が出資・運営する食品関連会社。

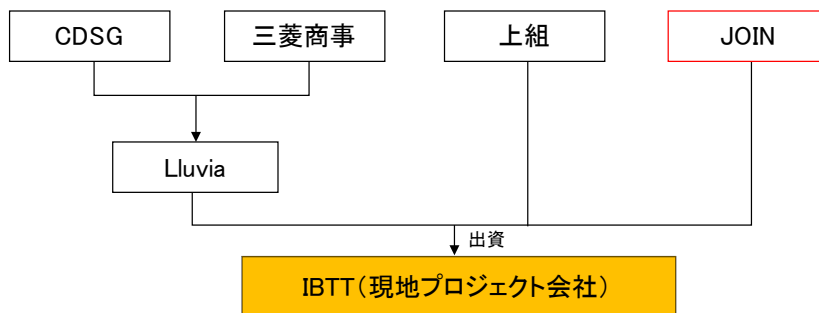
（お問い合わせ先）	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構
	事業推進部 川上
	TEL：03-5293-6723 FAX：03-3218-5561

<ターミナル概要>

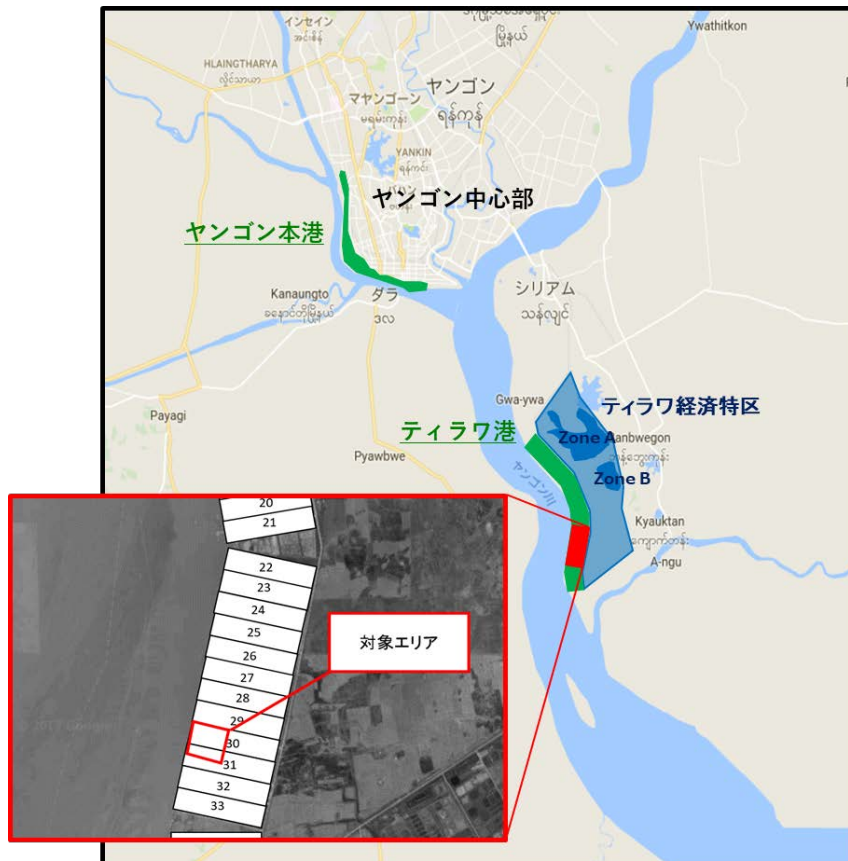
敷地面積	:	約 80,000 m <sup>2</sup>
岸壁	:	230m (Plot 30&31)
ドラフト	:	9m
許容本船全長／載貨トン数	:	200m／20,000DWT
取扱能力	:	年間約 100 万トン
運営期間	:	2064 年まで

※ドラフト、許容本船全長／載貨トン数はミャンマー港湾局規定に基づく

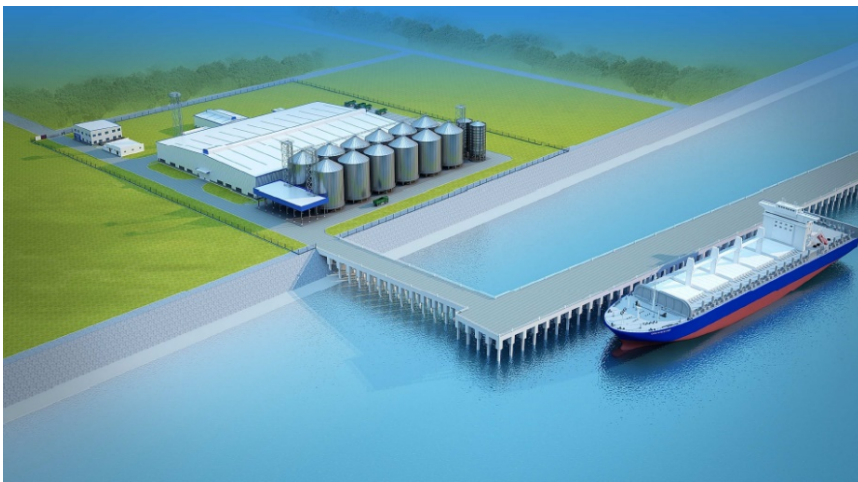
<事業スキーム>



<位置図>



<完成イメージ>



以 上